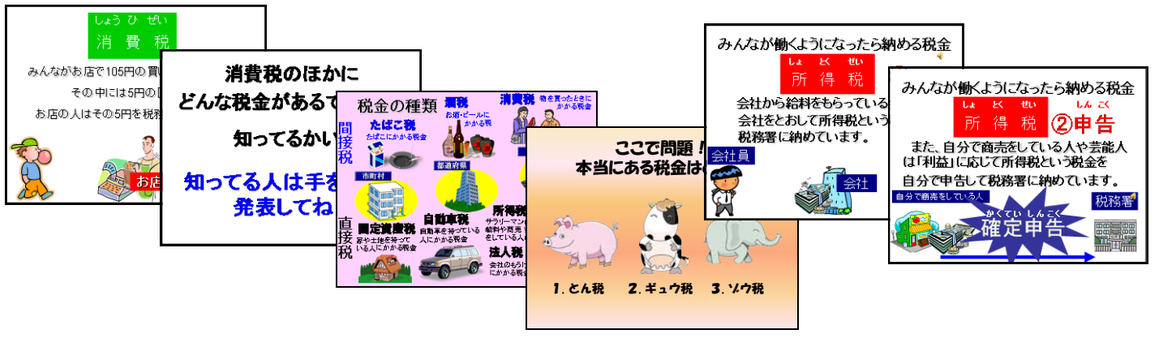
税理士による租税教室「はじめての税金教室」～私たちが伝えたいこと～

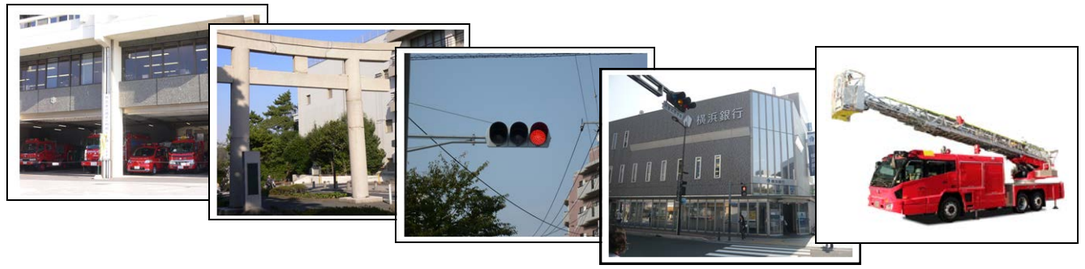
こんにちは、私は税理士の○○です。今日はみんなと一緒に税金の勉強をしに、やってきました。1時間、どうぞよろしくお願いします。

ところでみんな、税理士って聞いたことあるかな？何する人か知ってる？じゃあ、税務署は？

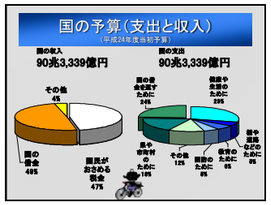
では早速、勉強を始めましょう。税金って、実はみんなにとって、すごく身近なものなんだよ。みんなが毎日通っているところはどこかな？そう、学校だね！学校の校舎とか、机や椅子、教科書や学校の先生のお給料など、みんなが学校で勉強するには、お金がいろいろかかっているんだよ。

じゃあ、小学生が1年間学校に通うと、どれくらいお金がかかると思う？ 答えは、一人約80万円です！小学生一人が6年間学校に通うと、約500万円かかることになるんだよ。大変なお金だね！このお金、みんなのおうちの人が払っているのかなぁ？払っていないよねぇ。じゃあ学校にかかるお金は、どうしているんだろう？実は、学校のお金は、税金から支払われているんだよ。だから、みんなにとって税金はすごく身近なものだと分かってもらえたかな。みんなは、税金があるから、学校で勉強したり、お友達と遊んだりできるんだよ。だから、学校の物は大事に使おうね。では、その税金について、もうちょっと勉強してみよう。

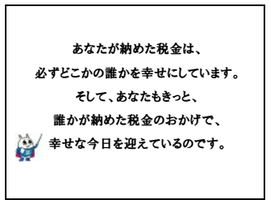




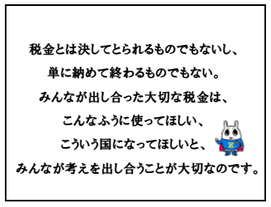
税金でいろいろなものが作られていたね。では、公共施設の外に、税金はどんな使われ方をしているんだろう。ここでみんなには、税金の使い道や、税金がなくなったらどうなるか、というビデオを見てもらうことにします。（マリンとヤマト、17分間）



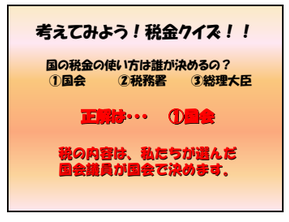
じゃあ最後に、集めた税金とその使い道について、もう一度おさらいしよう。集めた税金などの国の収入は、難しい言葉で「歳入」と言います。税金をいろんなことに使うことを、難しい言葉で「歳出」と言います。（この後、税収が歳出をまかないきれていない事、その差は借金であること、借金を減らすには収入を増やす、あるいは支出を減らす、という両方から考えなければいけない事、それをきちんと考えられる大人になってほしいこと、を説明します。）



では、最後に今まで勉強してきた税金のおさらいをしましょう。今まで勉強してきたように、税金はみんなのために使われるものです。そうでなくてはいけない。（スライドの文章を引用しながら、説明する）



みんなが税金の集め方や使い方を真剣に考えれば、日本はもっといい国になると思う。今日の授業が、みんなが税金のことを真剣に考えるきっかけになってくれればいいと思っています。今日の授業は、これで終わりです。1時間、どうもありがとうございました。



じゃあ、クイズをしよう！税金の使い道は誰が決めるでしょうか？はい、答えは①番の「国会」でした。みんな、国会って、誰が居る場所かなぁ？そう、国会議員だね。国会議員はどうやって決めるのかな？選挙で決めるんだよね。選挙権を持っている人が選んだ国会議員が、国会で税金の使い道を決める、と言うことは、選挙権を持っている人が間接的に税金の使い道を決める、ということになるよね。国会では、税金の使い道だけではなく、税金の集め方も決めるんだよ。だからみんなが大人になって、選挙権を持つようになったら、どの人が税金の集め方や使い方をちゃんと考えてくれる人だろう？ということを考えて、選挙に行ってほしいと思います。そのためには、税金について今からちゃんと勉強しておこうね。

じゃあ、今度は税金の使い道について、勉強しよう。みんなのそばには、税金で作られた建物や施設がたくさんあるよ。税金で作られた施設のことを、「公共施設」と言います。みんなの学校も公共施設だね。じゃあ、そのほかにどんな公共施設があるかな？今から何枚か写真を見てもらうので、税金で作られた公共施設か、そうでないかを考えてみてね。では最初にこの写真、消防署だね。消防署は公共施設でしょうか、公共施設じゃないでしょうか。

produced by 東京地方税理士会